

SS 探究ⅡC

課題発見セミナー

1月20日（金）、山口大学知的財産センターより 陣内 秀樹 先生をお招きし、2年家政科を対象に「課題発見セミナー」を開催しました。

これは、身近な事象を科学的な視点で捉え、新たな問題を発見する力を育成するとともに、探究の手法や知的財産についての知識を獲得し、課題研究に活用することを目的に開催するものです。

今回は、人の手で作り出したもの全てが知的財産（知財）であり、技術やノウハウなど目に見えないものに価値があるという話から始まりました。インスタントラーメンの麺を乾燥させる技術は、天ぷらを揚げる様子がヒントになり開発されたという話から、知財を生み出すためには日頃の心構えが大事であり、「知識」よりも「意識」が重要であることを知りました。また、囲炉裏や蝋燭など、不便で面倒なことだけど、場合によっては価値が高まることを知り、「面倒なことでもチャレンジし、労を惜しまず、隠れた真の価値を発見し伝えることができる人になりたい」と感想をもつ生徒もいました。さらに、他の高校の先行事例から、自分たちも何かしたいと心が動く生徒が多く見られました。

盛りだくさんの内容で、生徒の課題探究についての考え方についての変化が感じられました。陣内先生、ありがとうございました。

